



Title	癌と人 第28号 目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 2001, 28
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23818
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

◎ 題 字 ◎

財団法人 大阪癌研究会
前理事長 千代賢治



* 表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関する学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに、今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で、蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日、欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスと言葉からきたもので、両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

第28号 目次

- ごあいさつ 1
松本圭史
- 前立腺肥大・前立腺癌 2
松本圭史
- 21世紀を迎えて 4
田口鐵男
- 癌診療とIT 7
小塙隆弘
- 婦人科癌と腫瘍マーカー 9
奥平吉雄
- 癌診療と放射線被曝 13
中村仁信
- 肺癌の遺伝子診断と今後の展開 15
杉尾賢二
- 癌と縁 16
高橋淳
- ポリコーム遺伝子とがん 18
西口聖治
- アイデンティティーと研究 19
堀尾嘉幸
- 細胞不死化を司る酵素：テロメラーゼ 21
高倉正博
- NK4による新しい制癌戦略 22
松本邦夫
- 乳癌とセンチネルリンパ節 25
元村和由
- 化学合成できる抗原のはなし 26
松下祥
- EBウイルス陽性腫瘍に対する特異的遺伝子治療の基礎的研究 27
今井章介
- 殖抑制システムの分子設細胞内動態制御による選択的癌増計 29
原島秀吉
- p51遺伝子をクローニングして 31
長田元伸
- 平成11年度事業報告 大阪癌研究会 33
- 平成12年度収支予算書 35
- 平成11年度収支計算書等 36
- 平成12年度事業計画書 40
- 平成12年度寄附者御芳名 41
- 財団法人大阪癌研究会寄附行為 46
- (財)大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿 49